

保護者 様

今治市立鴨部小学校長 西坂 淳

令和6年度鴨部小学校学校評価（2学期末）の結果について

大寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。日頃より、学校教育にご理解、ご支援をいただき感謝申し上げます。

さて、学校評価の結果を取りまとめましたのでお知らせいたします。この結果を真摯に受け止め、今後の取組や指導方法に生かしていきます。アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。

※ 判定につきましては、A：肯定率90%以上、B：肯定率60%以上90%未満、C：肯定率：60%未満、としております。 (%)

学校教育目標・重点事項			判定	平均肯定率	対象	肯定率	1学期との比較	評価（○課題、◆改善策等）	
教育目標	児童像	重点事項							
自ら学ぶ 心豊かで たくましい児童の育成	自ら学ぶ子	進んで発表、ノートきちんと	B	88	教職員	100	+11	○児童、保護者の評価が下がり、基本的な学習規律に課題があります。 ◆引き続き、基本的な学習規律が身に付くよう、粘り強く指導を継続します。	
					児童	91	-5		
					保護者	72	-2		
		児童	B	83	教職員	89	-11	○教師の評価が下がり、課題解決に向けて深く考え、粘り強く取り組むことが課題です。 ◆課題解決の過程を重視し、振り返りを丁寧に行います。	
	児童	92			+2				
	保護者	68			+1				
	児童	A	92	教職員	100	0	○保護者の評価が下がり、家庭学習の取組には個人差が大きいようです。 ◆学年便りでお知らせしたり、学習する内容を紹介したりして、取組を継続します。		
	児童			97	+7				
	保護者			79	-4				
	児童	B	66	教職員	78	+11	○他の項目と比べて評価は低く、読書への取組が課題です。 ◆図書室の活用を図り、読書の楽しさを伝えていきます。		
	児童			76	-6				
	保護者			43	-7				
	児童	心豊かな子	友達と協力、思いやり	A	93	教職員	89	-11	○教師の評価は下がりましたが、全体的に高い評価を得ています。 ◆わくわくタイムなど、異年齢で交流する活動を通して、思いやりの気持ちを育みます。
	児童					97	+4		
	保護者					92	+1		
	児童		A	91	教職員	89	0	○保護者の評価が下がりました。 ◆道徳科や学級活動、わくわくタイムの活動をはじめとする教育活動全体を通して、困っている友達を助ける学習や活動を行います。	
	児童	93			0				
	保護者	92			-4				
	児童	A	93	教職員	100	0	○児童や保護者の評価が上がりました。 ◆今後とも、教職員から積極的に挨拶するとともに、気持ちの良い挨拶について指導していきます。		
	児童			99	+2				
保護者	79			+1					
児童	B	88	教職員	100	+33	○児童や保護者の評価が下がりました。 ◆今後とも、アロハ運動を意識付け、機会を捉えて指導を継続します。			
児童			87	-7					
保護者			77	-1					
児童	たくましい子	体を動かし、元気な体作り	A	91	教職員	100	0	○持久走の指導に力を入れましたが、児童の評価が下がりました。 ◆寒さに負けず、外遊びを行い、なわとびの指導に取り組みます。	
児童					89	-2			
保護者					83	+2			
児童		A	97	教職員	100	0	○全体的に高い評価となっています。 ◆委員会活動やクラブ活動では、児童主体の取組を支援していきます。		
児童	95			-5					
保護者	96			+5					
児童	B	好き嫌いせずに食べる	78	教職員	78	0	○児童の評価が下がりました。 ◆引き続き、給食指導や保健の授業で、好き嫌いなく食べることが、成長期において大切であることを指導します。		
児童				78	-12				
保護者				79	+5				
児童	B	早寝早起き朝ごはん	88	教職員	100	0	○保護者の評価が下がりました。 ◆引き続き、家庭と連携し、「早寝早起き朝ごはん」運動の啓発に努めます。		
児童				83	+5				
保護者				81	-8				

評価項目（児童）	判定	肯定率	1学期との比較	評価
学校に行くのが楽しい	B	89	-4	「学校へ行くのが楽しい」の評価が下がりましたが、他は高い評価を得ています。 少数指導の良さを生かし、教職員が一人一人の児童に声を掛け、寄り添っていきます。 また、ハートなんでも相談員や家庭と連携しながら、児童の様子の変化を見逃すことなく、児童の思いや願いに寄り添っていきます。
分かりやすく丁寧に教えてくれる	A	100	+1	
悩みや困ったことの相談にのってくれる	A	96	0	
玉川町や鴨部は大好きで大切なふるさとだ	A	100	+1	

評価領域	判定	評価項目	対象	肯定率	1学期との比較	4	3	2	1
教育課程 学習指導	B	学校は、一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている。	保 護 者	85	-7	32	53	0	0
	B	学校は、タブレットの活用等、積極的にICT機器を活用している。		85	+6	32	53	5	0
	A	学校は、児童の学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向けた指導を行っている。		90	+3	32	58	3	0
人権・同和教育 生徒指導	A	学校は、人権・同和教育の視点に立ち、いじめや差別を許さない意識や態度を育てている。		90	0	45	45	0	0
	B	学校は、学校のきまりを見直し、児童の実態に応じた指導を行っている。		79	-3	34	45	8	0
キャリア教育	B	学校は、自分の良さを知り、将来への夢を持った子どもを育てている。		82	0	24	58	5	0
安全管理	A	学校は、児童に交通安全やけが等の防止について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている。		92	+5	45	47	3	0
保健管理	B	学校は、児童の健康状態を確認するとともに、環境衛生を整え、児童の健康の保持・増進に努めている。		87	-8	40	47	3	0
特別支援教育	B	学校は、特別支援教育の視点に立ち、一人一人に応じた配慮や相談を行っている。		74	-3	34	40	0	0
組織運営	B	学校は、管理職や担当教員を中心に、学校として組織的に対応している。		85	+10	40	45	0	3
保護者・地域 との連携	A	学校は、教育活動の充実に向けて、保護者や地域と連携・協力している。	92	+2	42	50	3	0	
	B	学校は、学校・学年便りやホームページにより、積極的に情報発信をしている。	87	+7	42	45	8	3	
教育環境整備	B	学校は、施設・設備の安全を確保し、児童の言語環境などの教育環境の整備に努めている。	84	-6	37	47	3	0	
保幼小中連携	B	学校は、小1プロブレムや中1ギャップの解消につなげるために、保幼小中で連携して児童の学校生活に対する不安の軽減を図っている。	66	+12	13	53	3	0	

※ 「分からない」については表示しておりません。

自由記述

ご意見：参観日等での教師の声が聞き取りにくい。また、児童の発言を最後まできちんと聞かせてほしい。
 回答：担任の声の大きさや児童の発言について今一度確認し、言語環境を整えていきます。
 ご意見：ホームページの更新が少なく残念。写真に写っている児童が小さく、様子が分かりにくい。
 回答：ホームページにつきましては、一日に1回は更新できるように努めております。ただ、写真につきましては、個人が特定されないように配慮しておりますので、ご理解ください。
 ご意見：部活動の大会に出場できるか知らせてくれるのが遅い。駅伝大会に出場できるか分からない段階でうどんの注文を取るのをおかしい。
 回答：選手の選考につきましては、申込締切りの直前まで児童の記録の伸びを考慮するため遅くなってしまいます。玉川駅伝大会のうどんの注文につきましては、地域教育課からの依頼ですので、ご理解ください。
 ご意見：児童数が減る中で、クラスだけで給食を食べるのではさみしいクラスもあるのではないかと。複数学年や全校一斉に給食を食べることはできないか。
 回答：新型コロナウイルス感染症が感染法上5類に移行されましたが、まだ安心できる状況ではありません。加えてインフルエンザも蔓延していることから、給食はこれまで同様に学級内で食べることにします。
 ご意見：プレーカーが落ちてタブレットがつかないことが多い。改善されるのか。
 回答：業者に依頼してプレーカーが落ちる原因を探っており、応急措置を行ったところですが、タブレットを安定して使うことができるよう、教育委員会とも連携を図っていきます。

考 察

1学期に比べ、学習指導や保健管理、教育環境整備の評価が下がりました。一方、ICT活用や安全管理、組織運営、保護者・地域との連携、保幼小中連携の評価は上がりました。
 2学期に、本校で玉川中学校区人権・同和教育研究会を開催しました。道徳教育に力を入れるとともに、人権教育講演会を行い、児童・保護者・地域住民が人権について考える機会を持つことができました。引き続き、「わくわくタイム」や「ありがとうカード」の取組を継続し、思いやりのある心豊かな児童の育成に努めます。
 また、日の出保育所や九和小学校、地域の方との交流の機会を増やしました。様々な人々との触れ合いを通して、人権意識の高揚とふるさとを愛する心の育成を図っていきます。